

# 令和2年 火災と救急救助の概要

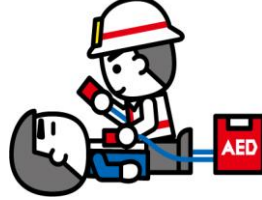
消防本部予防課予防G (☎ 0595-82-9492)

消防本部消防総務課消防救急G (☎ 0595-82-9496)

火災 28 件

救急 1,915 件

救助 23 件



## ●火災の概要 【消防本部予防課予防グループ】

令和2年中の火災件数は28件で、前年に比べて4件増加しました。また、火災による死傷者は4人でした。

項目別では、建物火災が9件で前年に比べて3件増加し、9件のうち6件が住宅火災でした。

主な出火原因は、放火や放火の疑いによるものでした。

全国統計でも、放火・放火の疑いによる火災の割合が高いため、日頃から家の周りに燃えやすい物を置かないなど、放火されない環境づくりを心がけましょう。

項 目		令和元年	令和2年	前年比
火災件数	建物火災	6	9	+3
	林野火災	1	0	-1
	車両火災	6	5	-1
	その他火災	11	14	+3
	合 計	24	28	+4
死傷者	死者(人)	0	1	+1
	負傷者(人)	6	3	-3

※その他火災とは、建物、林野、車両に該当しない火災です。(例：空地の枯草や田畑の火災など)

主な出火原因	令和元年	令和2年
	たき火、枯草焼き	放火・放火の疑い
	放火・放火の疑い	排気管
	ライター	たき火、コンロ

## ●救急救助の概要 【消防本部消防総務課消防救急グループ】

■救 急 ※各項目の令和2年の数値は、速報値となります。

### ・事故種別出動件数、搬送人員（表1）

令和2年中の出動件数は1,915件、搬送人員は1,829人で、前年と比べて出動件数は410件、搬送人員は368人減少しました。

1日の平均出動件数は5.2件で、平均搬送人員は5.0人となっています。

事故種別では、急病によるものが最も多く、次いで一般負傷、交通事故の順となっています。

（表1）

事故種別		年 別		前年比
		令和元年	令和2年	
火 災	出動件数	8	7	-1
	搬送人員	5	4	-1
自然災害	出動件数	1	0	-1
	搬送人員	1	0	-1
水 難	出動件数	1	2	+1
	搬送人員	1	2	+1
交通事故	出動件数	226	151	-75
	搬送人員	240	165	-75
労働災害	出動件数	27	30	+3
	搬送人員	27	29	+2
運動競技	出動件数	5	5	±0
	搬送人員	5	5	±0
一般負傷	出動件数	381	354	-27
	搬送人員	360	341	-19
加 害	出動件数	7	6	-1
	搬送人員	8	3	-5
自損行為	出動件数	22	23	+1
	搬送人員	15	16	+1
急 病	出動件数	1,532	1,259	-273
	搬送人員	1,423	1,189	-234
その他	出動件数	115	78	-37
	搬送人員	112	75	-37
合 計	出動件数	2,325	1,915	-410
	搬送人員	2,197	1,829	-368

・被搬送者の傷病程度別比率（表 2）

令和 2 年中の被搬送者 1,829 人における傷病程度の比率は、軽症が 894 人で 48.9%、中等症が 754 人で 41.2%、重症が 108 人で 5.9%、死亡・その他が 73 人で 4.0%となっています。前年と比べて軽症の占める比率が 3.9 ポイント減少しました。

（表 2）

傷病程度		年 別	令和元年	令和 2 年
軽 症	搬送人員		1,161	894
	比 率		52.8%	48.9%
中等症	搬送人員		838	754
	比 率		38.2%	41.2%
重 症	搬送人員		148	108
	比 率		6.6%	5.9%
死亡・その他	搬送人員		50	73
	比 率		2.3%	4.0%
合 計	搬送人員		2,197	1,829

※ 軽 症：入院を必要としないもの

中等症：入院を必要とするもので、重症に至らないもの

重 症：三週間以上の入院加療を必要とするもの

死 亡：初診時において死亡が確認されたもの

その他：医師の診断がないものなど

・被搬送者の年齢区分別比率（表 3）

令和 2 年中の被搬送者における年齢区分別比率は、高齢者が 1,146 人で 62.7%、成人が 538 人で 29.4%、少年が 58 人で 3.2%、乳幼児が 85 人で 4.6%、新生児が 2 人で 0.1%となっています。

（表 3）

年齢区分		年 別	令和元年	令和 2 年
高齢者 65 歳以上の者	搬送人員		1,285	1,146
	比 率		58.5%	62.7%
成 人 18 歳以上 65 歳未満の者	搬送人員		688	538
	比 率		31.3%	29.4%
少 年 7 歳以上 18 歳未満の者	搬送人員		94	58
	比 率		4.3%	3.2%
乳幼児 生後 28 日以上 7 歳未満の者	搬送人員		128	85
	比 率		5.8%	4.6%
新生児 生後 28 日未満の者	搬送人員		2	2
	比 率		0.1%	0.1%
合 計	搬送人員		2,197	1,829

## ・医療機関への市別搬送比率（表 4）

令和 2 年中の市別医療機関における搬送比率は、市内医療機関への収容率が 41.6%で、市外医療機関への搬送が 58.4%となっています。

（表 4）

市 別		年 別		令和元年	令和 2 年
亀山市	搬送人員			857	760
	比 率			39.0%	41.6%
鈴鹿市	搬送人員			1,044	878
	比 率			47.5%	48.0%
津 市	搬送人員			167	101
	比 率			7.6%	5.5%
四日市市	搬送人員			110	80
	比 率			5.0%	4.4%
その他	搬送人員			19	10
	比 率			0.9%	0.5%
合 計	搬送人員			2,197	1,829

## ・現場到着・病院収容までの平均所要時間（表 5）

令和 2 年中の現場到着までの平均所要時間は、8.9 分で前年と比べて 0.3 分延伸しました。病院収容までの平均所要時間は、40.8 分で前年と比べて 1.9 分短縮しました。

（表 5）

年 別		令和元年	令和 2 年	前年比
所要時間				
現場到着（分）		8.6	8.9	+0.3
病院収容（分）		42.7	40.8	-1.9

## ■救急車の適正利用と救急医療情報システムの利用

救急車の適正利用については、広報「かめやま」や救急講習会などを通じて、市民の理解と協力をお願いしていますが、依然として明らかに軽症と思われる方、タクシー代わりの出動要請など緊急性の低い事例がみられます。

救急車を呼ぶほどではないが、すぐに受診を希望される場合は、下記の「救急医療情報システム」を利用してください。

### 《救急医療情報システム》

パソコン **URL** <http://www.qq.pref.mie.lg.jp/>

携帯電話 **URL** <http://www.qq.pref.mie.lg.jp/k/>

自動案内 ☎0800-100-1199（通話料無料・ファックスでも受信可能）

医療情報センター（対人案内） ☎059-229-1199

※受診の際は、必ず紹介された医療機関に事前確認してください。

※救急車を呼ぶべき症状について詳しくは、市消防本部のホームページをご覧ください。

（**URL** <http://www.city.kameyama.mie.jp/shobo/index.html>）

## ■救 助

令和2年中の救助件数は23件で、前年に比べて11件減少しました。交通事故に伴う救助出動が最多となっています。

災害はいつ起こるか分かりません。日頃から災害に対して備えましょう。

救助の概要		令和元年	令和2年	前年比
事故種別件数	交通事故	19	12	-7
	水難事故	1	3	+2
	建物等による事故	6	0	-6
	風水害等 自然災害事故	0	0	±0
	機械による事故	0	0	±0
	その他の事故	8	8	±0
	合計	34	23	-11

※その他の事故とは、交通事故、水難事故などに該当しない事故です。

## ■災害情報案内の利用

火災などの災害情報を自動音声案内や市消防本部ホームページ（軽易なものは除く）に掲載していますので、ご活用ください。

《自動音声案内》

☎82-9555

《市消防本部ホームページ》

URL <http://www.city.kameyama.mie.jp/shobo/>